



てや助成も行われています。このように、子育てに関する支援はたくさんありますが、出産できる病院は徐々に減少しています。そして少子高齢化につながっているのが東広島市の現状だと思います。この現状が続くと、不安を抱えた状態で、自分に合う病院を選ぶこともできないまま出産を迎える人もいるのではないのでしょうか。また、子育て施設や支援を活用しきれっていない人もいるのではないかと思います。

こうした現状の東広島市から、もっとよい未来の東広島市を実現するために私が思い描くのは、まず、出産面では、出産可能な病院を増やすということです。いきなり病院を増やすことはとても難しいことだと分かっています。しかし、現在の出産可能な二施設の医師にとっても負担がかかっていると考えられます。医師の働き方改革にもつながらず、今の時代に合っていないかもしれません。そして、一番不安を抱えておられるのは妊婦さんだと思います。

す。出産可能な病院が増えれば、妊婦さんは自分に合う病院を見つけることができます。こうしたことができれば、安心して子育てできる環境を整える第一歩になると思います。

次に、子育てという面では、たくさんの子育て支援施設があるということ、どの世代にも広く知ってもらい、利用者を増やすということです。子育て世代の方は知っていても私たち小中学生世代は知らないことが多いと思います。私たち小中学生もたくさんさんの支援施設があることを知ること、将来成長したときに、「利用してみたい」という気持ちになるのではないかと考えます。そして、その気持ち、子育てしやすい東広島市に残ろう。』「東広島市で子育てがしたい。』という思いにつながり、さらに、東広島市の人口を増やすきっかけにもなると思います。

また、このような支援施設は、小さい子供向けのところが多いと思いますが、小中学生も楽しめる施設が増えればいいと思います。

例えば、アスレチックなどのスポーツ施設が市内にできれば、わざわざ遠方まで行かなくても小中学生やその保護者も気軽に利用できると思います。小さい子供から小中学生、大人まで楽しめる施設があることにより、交流の場が広がり、子育ても楽しめるといふ好循環が生まれると思います。

このように、私が思い描く未来の東広島市は、子供たちが楽しく生活することができ、親も楽しく子育てできる未来です。私は、これからもずっと東広島市に住み続けて、未来の東広島市を実現していくための活動に関わっていききたいです。そして、「日本で一番住みたい市」として未来へと受け継いでいきたいと思います。「未来につながる、みんながつながる、私たちのふるさと東広島市」を指して。東広島市が優しさとたくさん笑顔であふれるよう願いつつ、私は、これからもずっと東広島市を愛していきます。